

FARROW & BALL®

CRAFTSMEN IN PAINT AND PAPER

製品アドバイスシート

Dead Flat

Farrow & Ball の塗料は環境に配慮し、すべて低量あるいは最低量のVOC (揮発性有機化合物)を含んでいます。水性のため低臭で乾燥時間が短く、環境に優しい製品です。

製品のサイズ: 750 ml, 2.5 L, 5 L,

日本総代理店 株式会社カラーワークス www.colorworks.co.jp e-mail info@colorworks.co.jp

製品情報:

伝統的かつやを抑えたマットな質感。室内の木造部、漆喰、金属部用。家具や高耐摩耗性が必要な箇所には適しません。洗浄不可、拭き取り不可。(本国のみのお取り扱い)

推奨プライマー&アンダーコート:

室内の木造部用 : Farrow & Ball Interior Wood Primer & Undercoat

金属部用 : Farrow & Ball Metal Primer & Undercoat

室内の壁、天井用 : Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat

節のある木造部や樹脂性の木造部の下準備:

余分な樹脂を削り取った後、塗料用シンナーあるいはメチルアルコールできれいに拭き取ります。十分に乾燥させてから次の作業に進んでください。

新しい室内の木造部あるいは未塗装の室内の木造部 (床以外)の下準備:

塗装表面は損傷箇所を補修し、清浄で乾燥した状態にします。汚れや油分、その他の汚染物質をすべて取り除きます。適切なフィラーを使用して割れ目や穴、すき間を埋めてください。塗料の密着性を高めるため、塗装面に軽くやすりをかけてください。上記のような結着性または樹脂性の領域を準備し、Farrow & Ball Wood Knot & Resin Blocking Primerでプライムプライムをパッチします。ご使用になるトップコートに合った色調の Farrow & Ball Interior Wood Primer & Undercoat を水で希釈して(希釈率20%)一層塗った後、最低 4時間の塗り重ね時間ととり一層(無希釈)塗ります。十分な塗り重ね時間ととり、Farrow & Ball のトップコートを二層塗ってください。

古い塗膜のある室内の木材(床以外)の下準備:

塗装表面は損傷箇所を補修し、清浄で乾燥した状態にします。汚れや油分、その他の汚染物質をすべて取り除きます。剥がれや気泡が見られる古い塗装層を取り除いてください。もろくなった塗装層の上に塗ると剥げ落ちや剥がれが発生することがあります。古い塗膜は縁を研磨して厚さを次第に薄くし(フェザーエッジング)、平滑な塗装面を準備します。適切なフィラーを使用して割れ目、穴、すき間を埋めてください。粘着性を高めるため、塗装層に軽くやすりをかけてください。Farrow & Ball Wood Knot & Resin Blocking Primer を使用して節の多い樹脂性の箇所を補修し下準備してください。トップコートの色調に合った Farrow & Ball Interior Wood Primer & Undercoat を一層塗ってください。(最低 4時間の塗り重ね時間とってください)十分な塗り重ね時間ととり、Farrow & Ball のトップコートを二層塗ってください。

室内のMDFの下準備:

できる限り良質のMDFを使用するようにしてください。

MDFの質が高いほど、繊維の膨張が発生しにくくなり、そのため表面にやすりをかける必要がなくなります。

質の低いMDFは強固に結合する繊維が少なく、塗装の際、表面が膨張する場合があります。

繊維が膨張した場合は、塗り重ねる前に表面に軽くやすりをかけると、スムーズな仕上げになります。

MDFの端に軽くやすりをかけると、表面が安定し塗料の吸収性を抑えることができます。ご使用になるトップコートの色調に合ったFarrow & Ball Wood Floor Primer & Undercoatを最低4時間の塗り重ね時間を取り、一層塗ってください。

十分な塗り重ね時間を取り、Farrow & Ballのトップコートを二層塗ってください。

ワックスがけをした表面やつやのある表面の下準備:

ワックスがけをした表面やつやのある表面に塗装する場合は、やすりをかけて塗膜を取り除いてから作業を始めます。

Farrow & Ball

の塗料と適合性がない場合がありますので、ワックスがけをした表面やつやのある表面の小面積で塗料を試し塗りすることをお勧め致します。

鉄金属の下準備:

金属部の新しい塗装表面ならびに古い塗膜はきれいに洗浄し、油分を除去しておきます。

もろくなった塗装層と錆を取り除き、下地が見えるようにします。

ご使用になるトップコートの色調に合ったFarrow & Ball Metal Primer &

Undercoatを二層塗ってください。最低4時間の塗り重ね時間を取り、乾燥させてください。

十分な塗り重ね時間を取り、Farrow & Ballのトップコートを二層塗ってください。 鋳鉄:

鋳鉄は錆が発生しないよう、ペイントを塗る前に水性プライマーではなくサビ止めペイントを使用することをお奨めします。

鉄を含まない金属の下準備:

新しい金属表面、または塗装が古くなった金属表面を十分に洗浄し、油分を除去します。

Primer & Undercoatの粘着性を高めるため、もろくなった塗装層に軽くやすりをかけてください。

ご使用になるトップコートの色調に合ったFarrow & Ball Metal Primer &

Undercoatを二層塗ってください。最低4時間の塗り重ね時間を取り、乾燥させてください。

十分な塗り重ね時間を取り、Farrow & Ballのトップコートを二層塗ってください。

亜鉛めっき金属の下準備:

エッチングプライマーを使用して塗装表面をすべて処理してください。塗装を始める前に余分な処理剤を除去してください。

ご使用になるトップコートの色調に合ったFarrow & Ball Metal Primer &

Undercoatを二層塗ってください。最低4時間の塗り重ね時間を取り、乾燥させてください。

十分な塗り重ね時間を取り、Farrow & Ballのトップコートを二層塗ってください。

ラジエーターヒーターの下準備:

この製品は表面温度が60°Cを超えない標準型温水ラジエーターヒーターの塗装に適しています。

使用中の温度がかなり高くなる蒸気式ラジエーターヒーターの塗装にはお薦め致しません。

ラジエーターヒーターのスイッチが消してあり、冷たくなっていることを確認してから塗装を始めます。

ラジエーターヒーターの新しい塗装表面ならびに古い塗膜はきれいに洗浄し、油分を除去しておきます。

もろくなった塗装層と錆を取り除き、下地が見えるようにします。

ご使用になるトップコートの色調に合ったFarrow & Ball Metal Primer &

Undercoatを最低4時間の塗り重ね時間を取り、二層塗ってください。

十分な塗り重ね時間を取り、Farrow & Ballのトップコートを二層塗ってください。 鋳鉄ラジエーターヒーター:

鋳鉄ラジエーターヒーターは錆が発生しないよう、ペイントを塗る前に水性プライマーではなくサビ止めペイントを使用することをお奨めします。

新しい漆喰面または未塗装の漆喰面の下準備 / 壁（ドライライン）（モダン建築）:

漆喰が新しく表面が安定している場合は、ご使用になるトップコートの色調に合うFarrow & Ballペイントを水で希釈して塗った後、トップコートを二層塗ってください。注意：新しい漆喰の場合、厚さ5mmにつき7日の乾燥時間（標準）をとることをお勧めします。

標準希釈率（最大）:

無垢の漆喰（ドライスキム）、壁（ドライライン） = 水を最大20%加える。無垢の漆喰（ドライボード） = 水を最大20%加える。注意：希釈率は塗装表面の多孔性により異なります。目立たない箇所を選びいろいろな希釈レベルを試し、もっとも適切な希釈率を判断してください。トップコート（選択された）を水で希釈してミストコートとして塗ってください。注意：多孔性の高い漆喰に十分な処理が施されていない場合、トップコートを塗装しにくくなり、光沢に差が出たり色が不均一になる場合があります。

壁を再塗装する前の下準備:

トップコートの色調に合ったFarrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoatを最低4時間の塗り重ね時間を取り一層塗ってください。その後、トップコートを二層塗ると隠ぺい力が高まり、色の深みが最大限に豊かになります。

ペイント下地用クロス of 塗装:

未塗装のペイント下地用クロスはご使用になるトップコートに合った色調のFarrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoatを水で希釈(最高15%)して一層塗った後(希釈に関する情報は下記をご覧ください)ご使用になるカラーを二層塗ってください。注意：希釈率はペーパー表面の多孔性により異なります。試し塗りを行い、適切な希釈率を判断してください。プライマーやアンダーコートを塗布しない場合は、代わりにトップコートを水で希釈して(およそ10%)、ミストコートとして塗ってください。注意：多孔性のある紙に適切な下準備を施さない場合、塗装がやりにくく、光沢のばらつきや色にむらが出ることがあります。

室内用コーキング剤の使用:

小さなすき間や割れ目に詰め物をしたり、密封する際は水性の柔軟性のある塗装可能なコーキング材を使用すると最善の結果が得られます。必要なだけできるだけ少量のコーキング材を出して使います。少量の方が速く乾燥し、亀裂が発生しにくくなります。メーカー発行の製品説明書に従い、十分に乾燥させてから(通常2~3時間)Farrow & Ballの塗料を塗ってください。Estate Eggshell、Full Gloss、Dead Flatは直接二層塗ってください。(最低4時間の塗り重ね時間をとってください)Estate Emulsion、Modern Emulsion – トップコートの色調に合ったWall & Ceiling Primer & Undercoatを一層(無希釈)塗り、最低4時間乾燥させてください。最低4時間の塗り重ね時間を取り、トップコートを二層塗ってください。

室内壁のフィラーの塗装:

補修した塗装表面と同じ多孔性と密度のフィラーを使用すると最も良く仕上がります。多孔性や密度が異なるフィラーを使用した場合、色や色調にばらつきが発生し見えることがあります。フィラーのメーカー発行の使用説明書に従い、十分に乾燥させた後、トップコートに合う適切な色調の Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat を水で希釈して(20~25%) 塗ります。(最低4時間の塗り重ね時間をとってください)

その後、トップコートを二層塗ると隠ぺい性が高まり、色の深みが最大限に豊かになります。この製品は、高アルカリ/セメントベースのフィラーとは相溶性がない場合があります。可能な限り、代替タイプのフィラーの使用をお勧めします。ただし、代替手段がない場合は、上記の手順に進む前に、フィラーを適切に研磨し、すべてのほこりや汚染物質がないことを確認してください。

内部の木製フィラーの上に塗装：

フィラーのメーカー発行の使用説明書に従い、十分に乾燥させた後、Farrow & Ball Wood Knot & Resin Blocking Primerを試します。トップコートに合った色調の Farrow & Ball Interior Wood Primer & Undercoat を1層塗ります。最低4時間の塗り重ね時間を取り、Farrow & Ball のトップコートを二層塗ってください。

「トリム」を刷毛で塗る：

使用前によくかきまぜてください。「トリム」とは巾木、額長押、腰羽目、ドア、ドア枠、額縁、室内の窓台、窓枠(プラスチック製ではないもの)を指します。

Farrow & Ball

の塗料は水性です。水性塗料は溶剤塗料と異なり塗装時にダレが発生しにくく、厚めに塗ることで最も良い結果が得られます。

良質の先の細いナイロン刷毛 (Farrow & Ball

の塗料用刷毛など)を使用すると最善の結果が得られます。刷毛に塗料をつけ、たっぷり一層目を塗ります。

はじめに垂直方向に刷毛を運んで塗った後、次に水平方向に塗り、塗膜が均一になるまで作業を続けます。

最後は刷毛を持つ手の角度を約30度にし、軽く力を入れて単一方向に刷毛を運んで仕上げます。

従来の溶剤系塗料の場合とは異なり、刷毛目が増えますので、刷毛を過度に動かしたり

均一な薄い層に整えるようなことはしないでください。

完全に乾燥させてから(最低4時間の乾燥時間)、前と同じ手法で二層目を塗布します。

「トリム」をローラーで塗る：

使用前によくかきまぜてください。「トリム」とは巾木、額長押、腰羽目、ドア、ドア枠、額縁、室内の窓台、窓枠(プラスチック製ではないもの)を指します。

中毛ローラーを使用して塗布すると、スティプリングを最小限に留めた良い仕上がりとなるだけでなく、手早く作業を進めることができます。良質の先の細いナイロン刷毛であるFarrow & Ball の塗料用刷毛を使用すると最善の結果が得られます。

刷毛の使用：

使用前によくかきまぜてください。塗装表面は損傷箇所を補修し、清浄で乾燥した状態にします。

汚れや油分、その他の汚染物質をすべて取り除きます。もろくなった塗装層の上に塗る場合は、塗料を塗り始める前にもろい部分にやすりをかけると剥げ落ちや剥がれの発生を防ぐことができます。必要に応じ Farrow & Ball Wall & Ceiling Primer & Undercoat を使用すると塗料の隠ぺい性が高まり、色の深みが増します。先の細いナイロン刷毛を使用して、塗料を垂直方向に塗った後、水平方向に均一に引き延ばしながら塗ります。刷毛目やパターン(光の加減により見えます)を最小限に抑え目立たないようにするため、仕上げの層は単一方向に刷毛を運びます。

ローラーの使用：

使用前によくかきまぜてください。ローラーを使って塗装する場合—中毛ローラーを斜めに動かしながら‘M’、‘W’または‘V’字を描くようにして塗料を塗ります。塗った箇所から手早く塗料を引き延ばし均一に塗りムラを埋めていきます。

塗装表面全体を小さいセクションに区切り少しずつ、この手順を繰り返します。乾いている箇所から湿っている箇所に向かって作業を進め、ローラーの跡をできるだけ少なくするため常に端を湿らせておくようにします。ローラーパターン(光の加減により見えます)を最小限に抑え目立たないようにするため、仕上げの層は単一方向にローラーを運びます。

スプレー設定:

エアレススプレー - 吹き付け圧力2700 psi (186 bar)、吹き付け角度65°/457µm/381µm に設定すると良い結果が得られます。HVLPスプレー器具の種類により、水で塗料を希釈してください。(最高30%) エアコントロールバルブ、流量調節、ファンのサイズ、スプレーパターンの設定を調整し、厚紙や目立たない箇所を使ってお望みの仕上げとなるまで試し塗りをします。十分な塗り重ね時間を取り、各層を乾燥させながら、数回薄く塗布します。

損傷箇所の補修とタッチアップの際の注意事項:

塗装面が傷んだり、跡がついたりしたら、再塗装を考慮されるとよいでしょう。

最善の結果が得られるよう、元々の塗装に使用したのと同じバッチの塗料を傷んだ壁全体に一層塗布してください。

このように正しい方法で塗布すると、色や仕上げに目に見えるほどのばらつきが発生するのを防ぐことができます。

損傷箇所をタッチアップする場合は、以下の方法で作業を進めると最良の仕上げとなります。

1. 極力同一バッチの塗料を使用するようにします。弊社では厳しい基準を設けて色の管理を行っておりますが、バッチが異なる場合、色や光沢に若干のばらつきが生じることがあります。

同一バッチの塗料を使用することが不可能な場合は、ばらつきを目立ちにくくするため、壁ごとに同一バッチの塗料を使い一層塗布することをお勧めします。

2. 補修作業を行う場合は最初に壁に塗料を塗った時と同じ手法で下準備を行ってください。

例えばテクスチャーや吸収性が異なるフィラーを使用したときなど、多少まだらに仕上がりが、必ずしも完璧な仕上がりとにならない場合があります。

3. 必ず最初に壁に塗料を塗った時と同じ道具と手法を使用するようにしてください。

塗装にタッチアップを施す際は、古い部分と新たに塗った部分のつなぎ目が目立たないように、その部分をぼかすようにして施工します。

4. 壁に塗った塗料の色や缶の中の塗料の色は時間の経過に伴い変化します。

そのため、塗装後あまり時間が経たないうちにタッチアップを行う方が、より良い仕上げとなります。

塗装面にタッチアップを施す際、薄い色や光沢度の低い塗料と比べ、暗い色や光沢度が高い塗料は均一に仕上げるのが難しくなります。

暗めの色や光沢度の高い塗料の場合、明るい色や光沢度の低い塗料と比較して均一な仕上がりが難しくなりますのでご注意ください。

フォトフレーム:

Dead Flat は非常につやを抑えた仕上げのため、暗い色を塗る場合は注意が必要です。

フラッシング（端と端のつなぎ目が光ること）が発生しやすくなりますので、同一塗装面は一度に仕上げてください。

他の用途:

こちらでご案内している以外の用途で Farrow & Ball

の製品をご使用になる場合は、弊社までご相談ください。株式会社カラーワークス www.colorworks.co.jp e-mail info@colorworks.co.jp

塗布面積 (m²/ℓ 一層あたり): : 最大12m²

乾燥時間: : 乾燥時間 2 時間

塗り重ね時間(標準): : 4時間

硬化時間: : 完全な硬度、強度、耐久性を得るには、濃い色の塗料の色が14日かかることに注意してください。

光沢レベル: : 2%

標準塗装回数: : 2回

*暗めの色はさらなる塗装回数が必要となることがあります。注意: 乾燥時間、塗り重ね時間は通常の条件で塗装を行うことを前提としています。乾燥時間は低温の場所や高湿の場所では長くなる場合があります。

暗い色は乾燥時間が長くなる場合があります。

溶剤ベースの塗料を使用する場合は最低14日経過してから作業を行ってください。

比重: : 1.2 - 1.4 g/cc

湿潤フィルムの厚さ: : 80 - 120 μm

アプリケーション湿度: : < 80 % RH

湿式摩耗クラス: : 3

基質水分含有量:

石膏の壁と天井= <0.5% : インテリアウッド= <15%

吸水性 はDIN EN 1062 3 (w24 [kg/m²√24h]):

0.13 (Class II, limit >0.1 <0.5) を遵守 塗装後24時間の塗装面1m² 当たりの水分吸収量です。

w24の数値が小さいほど、塗膜の耐水性が高いことを意味します。塗料の水分吸収率はClass IからClass IIIまで等級分けされています。この場合のClass IIは中程度の耐水性を示します。

色の正確性:

使用前によく色を確認してください。間違った色を使用された場合、Farrow & Ball

は塗装費用に対し責任を負いかねますのでご了承ください

。同じ色が一缶以上必要な場合はバッチ番号が同じであることを確認してください。

バッチ番号が異なる場合は作業開始前に塗料を混ぜてください。

使用前によく掻き混ぜてください。

水がかかる場所:

本室内用塗料の仕上がりをしてできるだけ長持ちさせるため、平滑面に水がとどまることのないようご注意ください。

クリーニング:

Dead Flat 洗淨不可、拭き取り不可。非常にマットな質感のため、色により洗淨すると表面に跡や傷がつくことがあります。

高耐摩耗性が要求される場所には Modern Emulsionをお勧めします。

用具洗淨:

ブラシやローラーからなるべく多くの塗料を取り除いてください。ぬるま湯または石鹼水で刷毛ならびにローラーを洗淨してください。

保管の際の注意事項:

製品は水性ですので、霜が当たるところや極度の高温あるいは低温の場所に保管しないでください。

購入後6か月以内に使用してください。

弊社は6か月を過ぎた製品やパッケージの劣化には責任を負いかねますのでご了承ください。

環境、廃棄に関する注意事項:

内容物/容器を国際・国・都道府県、又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

VOC含有量に関する情報:

超低VOC。本製品は最大6g/lのVOCを含有しています。

処方:

従来のアルキドバインダーを使用した水性塗料

リードアドバイス:

施工前にはSDSを熟読し理解した上で、必ず試験施工をし、下地との密着を確認してください。雨や雪・湿度が高い日は避け、天気の良い日に塗ってください。気温、被塗物の温度が10°C以下・32°C以上・湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装をさけてください。マスキングテープは塗料が完全に乾く前にはがしてください。使い終わった道具は新聞紙などで塗料をよく拭き、乾く前に水でよく洗ってください。密着の悪い素材にはシーラー処理をしてください。重ね塗りをする際は、下地が完全に乾燥していることを確認してから施工してください。下地が動いた場合は、クラックが発生する場合があります。

安全衛生上の注意事項

1.使用前に取り扱い説明書を入手してください。2.すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。3.粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないでください。4.この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないでください。5.保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。6.飲んだり・目に入れたり・皮膚に付着しないようご注意ください。【緊急時、及び応急処置】a飲んでもしまった場合：ただちに水を与え医師の診断/手当を受けてください。b目に入った場合：大量の流水で洗い流し医師の診断/手当を受けてください。c皮膚に付着した場合：大量の石鹼水で洗い流し、痛みや異常がある時は医師の診断/手当を受けてください。7.ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断/手当を受けてください。8.施錠して子供の手の届かないところに保管してください。9.内容物/容器を国際・国・都道府県、又は市町村の規則にしたがって産業廃棄物として廃棄してください。10.本来の用途以外には絶対使用しないでください。11.衣類に付着した場合は、速やかにすべての汚染された衣類を脱ぐか付着物を取り除いてください。再使用する場合には洗濯してから着用してください。12.使用中・保管中は直射日光・水漏れ・凍結は厳禁です。輸送中・保管中は40℃以上、5℃以下にせず。きちんとフタをして、換気の良い場所で保管してください。13.塗装中・乾燥中は適切な換気が行える場所でご使用ください。14.取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。15.環境への放出を避けてください。容器からこぼれた時には、砂など散布した後、処理してください。

お問い合わせ:

カラー、塗料仕上げ、壁紙に関するお問い合わせは弊社までご連絡ください。株式会社カラーワークス www.colorworks.co.jp e-mail info@colorworks.co.jp

免責事項:

この仕様シートに記載されている情報および技術的アドバイスは、口頭、書面、あるいは実演によるものであれ、ガイダンスとして誠意を持ってご案内しているものですが、塗装技術および現場条件について弊社では管理できかねるため、一切の保証をいたしません。詳細は、弊社のカスタマー・サービス部までお問い合わせください。そのような使用から生じた製品性能に関して、納入製品の価格を越える責任は負いかねます。これはお客様の法的権利に影響するものではありません。